

『国際原子力発電技術移転機構』委員会 開催レポート（2010年8月18日開催）

去る8月18日（水）に『国際原子力発電技術移転機構』委員会が開催されました。

佐々木宜彦委員長を初めとして、委員会から15名と経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部 原子力政策課長の三又氏と課長補佐の宮下氏の2名が参加されました。

本委員会は『国際原子力発電技術移転機構』の現状の動きの報告と中国への対応、登録者増のための方法の討議を行うために開催され、委員会は佐々木委員長の挨拶から始まりました。



（左は野々内顧問、右は佐々木委員長）

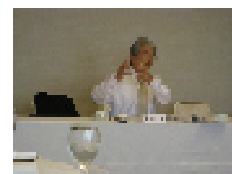


（左は宮下課長補佐、右は三又課長）

- ①経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課長よりご挨拶と、配布された「原子力発電推進行動計画」の資料に基づいて国内・海外を通じた原子力政策全般の主要課題についてのご説明がありました。

合わせて、グローバルな視点から、海外各国の原子力発電所の計画と日本としての対応についてのご説明があり、特にベトナム案件についての取り組みを強調されていました。

- ②『国際原子力発電技術移転機構』事務局より、現在進行中の台湾と中国の原子力関連団体Meetingの報告と、特に中国については原子力関連団体との協定締結とアライアンスの経過報告を行いました。



- ③『国際原子力発電技術移転機構』の登録者募集の具体的な施策について、委員会メンバーより積極的な発言があり、活発な討議がなされました。

